



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G1925号)

令和元年10月31日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

令和元(2019)年漁期ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」の調査結果などから見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

1. 今漁期の見通し

- ①解禁直後(但馬沖漁場):解禁直後の但馬沖漁場での漁獲量(1隻当たり)は、オスがに(硬がに)、は前年並みか前年をやや下回り、メスがにには前年をやや下回るでしょう。メスがにの漁場は水深 235～240m が中心となるでしょう。
- ②漁期全般(浜田沖～丹後沖漁場):本県底びき網漁船が漁期全般を通じて利用する浜田沖～丹後沖漁場全体におけるズワイガニ漁獲量はオスがにには前年並みか前年をやや上回り、メスがにには前年並みか前年をやや下回るでしょう。

2. 根拠となった情報

① 解禁直後(但馬沖漁場)

調査船「たじま」によるトロール漁期前調査(調査月:10月)

調査船「たじま」により、2019年10月9～18日に、香住沖の水深200～350mおよび津居山・浜坂沖の水深235～245mに設けた計14定点(図1)でトロール網(袖先間隔27m)による試験操業を実施しました(3ノット、30分曳き)。

・オスがに(硬がに):水深245mでややまとまった入網がありましたが(表1、図2)、解禁直後に利用されるメスがに漁場水深帯(235～250m)における1曳網あたり平均入網数は4.7尾で、前年(4.7尾)および過去5年平均(4.8尾)並みでした(表2、図3)。全水深帯(200～350m)平均では前年および過去5年平均を下回りました(表2)。

・メスがに(クロコ):津居山沖では水深235m、香住・浜坂沖では水深240mを中心に入網しました(表1、図2)。メスがに漁場水深帯における1曳網あたり平均入網数は18.4尾で、前年(25.8尾)および過去5年平均(52.1尾)を下回りました(表2、図3)。

② 漁期全般(浜田沖～丹後沖漁場)

日本海区水産研究所調査(調査月:5～6月)

水産研究・教育機構 日本海区水産研究所は、A海域(富山県以西)における2019年漁期当初の資源量を、オスがにには前年を上回り、メスがに・ミズがにには前年を下回ると推定しています(図5)。

3. その他の情報

- ・A海域におけるズワイガニ資源量は、依然として今後2021年漁期にかけて低下すると予測されています(図5)。持続的な漁獲を目指して取り決めた自主規制を遵守することで、メスがに、ミズがにの獲り控えに努めて下さい。
 - ・11月は再放流後の生残率が低いため、ミズがに、アカコ、若齢がにが多数混獲される海域での操業は控えて下さい。(香住沖水深200mには甲幅5cm前後の若齢がにが多く分布しています。)
 - ・但馬沖のアカガレイの1曳網あたり入網重量は前年を上回っていました(表2)
 - ・但馬沖ではエチゼンクラゲは入網が認められませんでした。オオサルパの入網もごく僅かでした。
- 以上、操業の参考にして下さい。

お問い合わせ先: 兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当: 大谷・田村)

TEL: 0796-36-0395 FAX: 0796-36-3684

E-mail: nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ: <http://hyogo-suigi.jp/tajima/>

資料①
解禁直後
(但馬沖)

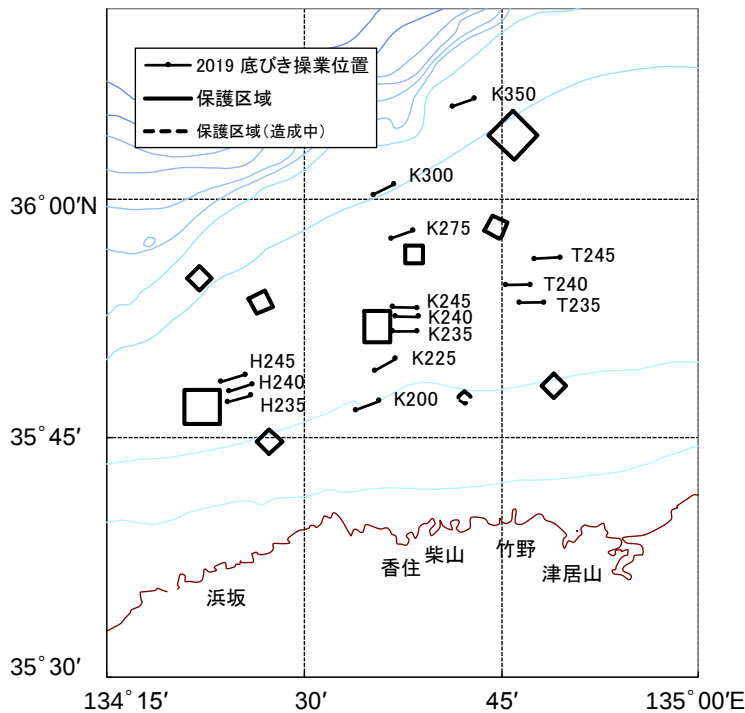


図1 但馬沖調査海域図

表1 操業点別のズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	操業点	曳網水深 (m)	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網量 (kg/網)
				オス*1	ミス*2	メス*3		
津居山・ 竹野沖	2019/10/17	T245	248	8	4	2	7.8	0
	"	T240	240	0	0	3	0.6	0
	"	T235	234→235	1	1	13	10.8	0
香住沖	2019/10/10	K350	338→331	2	5	0	11.2	0
	"	K300	300	0	1	0	10.1	0
	2019/10/9	K275	276→274	2	1	0	17.5	0
	"	K250(245)	249→244	8	12	4	38.5	0
	"	K245(240)	239→245	2	1	8	2.0	0
	"	K240(235)	231→239	0	4	2	2.6	0
	2019/10/10	K225	224→222	4	3	1	4.3	0
浜坂沖	2019/10/18	K200	199→197	0	4	0	5.6	0
	2019/10/11	H245	245→246	17	1	4	14.2	0
	"	H240	240	5	2	113	7.6	0
	"	H235	236	1	0	17	6.1	0

表2 曳網当たり入網匹数の前年および過去5年平均との比較

水深帯	調査年	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網重量 (kg/網)	平均海 底水温*4 (℃)
		オス*1	ミス*2	メス*3			
メスがに漁場水深帯 (235-250m平均*5)	過去5年平均	4.8	1.0	52.1	5.5	11.2	2.0
	2018年	4.7	1.4	25.8	2.7	0.0	2.2
	2019年	4.7	2.8	18.4	10.0	0.0	1.8
全水深帯 (200-350m平均)	過去5年平均	3.0	19.1	8.8	15.3	5.0	1.8
	2018年	2.3	18.1	4.5	8.1	0.0	2.1
	2019年	2.1	2.8	3.2	9.8	0.0	1.5

*1 硬がに(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大) *2 11齢(ハサミ小)と硬がに以外の12・13齢
*3 漁期中にクロコになる個体 *4 漁網監視装置より *5 メスが集中分布. 解禁直後の主漁場となる.

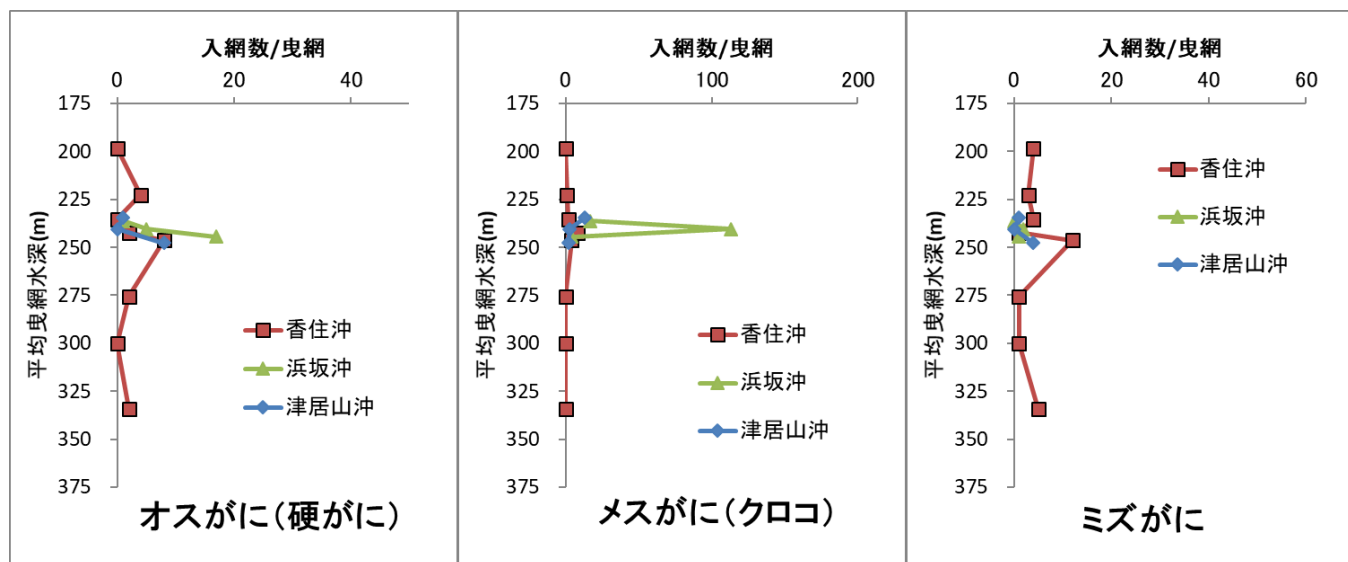


図2 曳網水深と入網尾数(但馬沖)

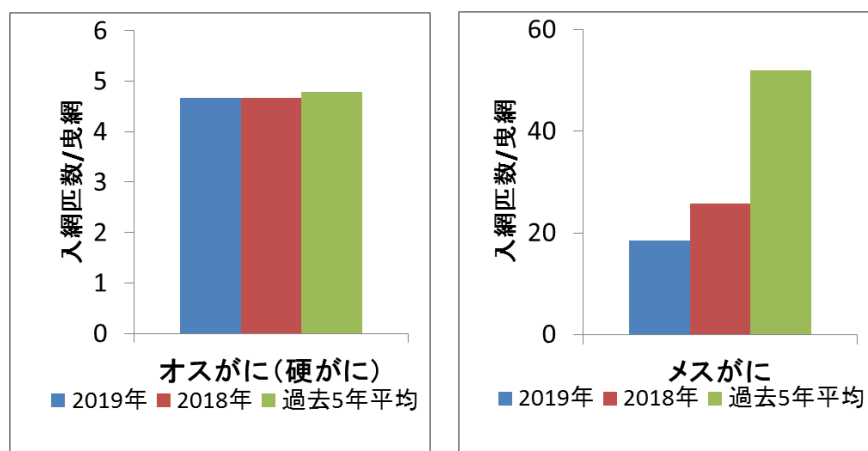


図3 平均入網匹数の過去との比較
(但馬沖:235-250m平均)

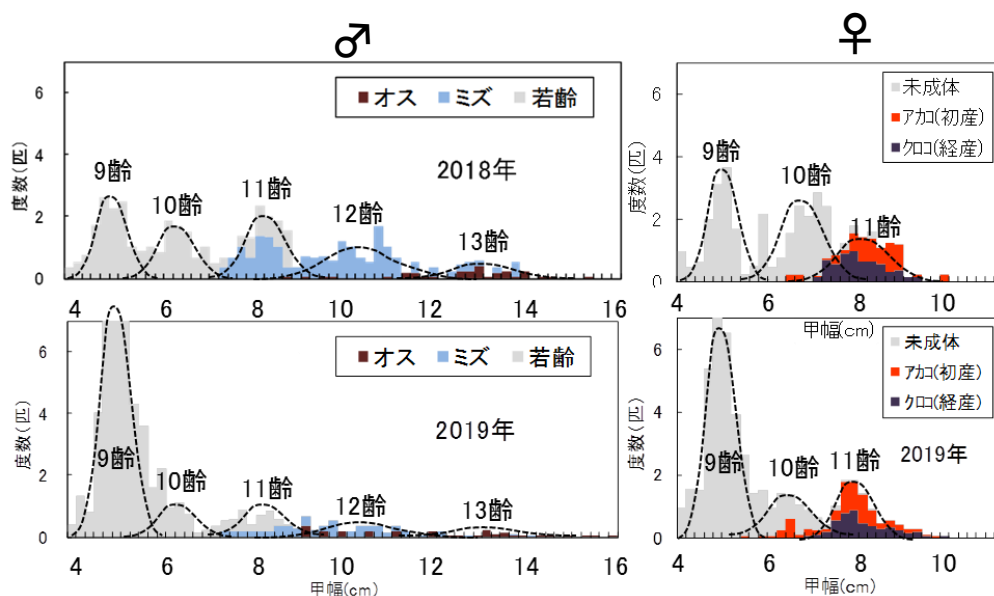


図4 トロール網によるズワイガニ甲幅組成(2018・2019年)
(10月、但馬沖水深200-350m、1曳網当たり)

資料②

漁期全般

(日本海西部海域; 富山県以西)

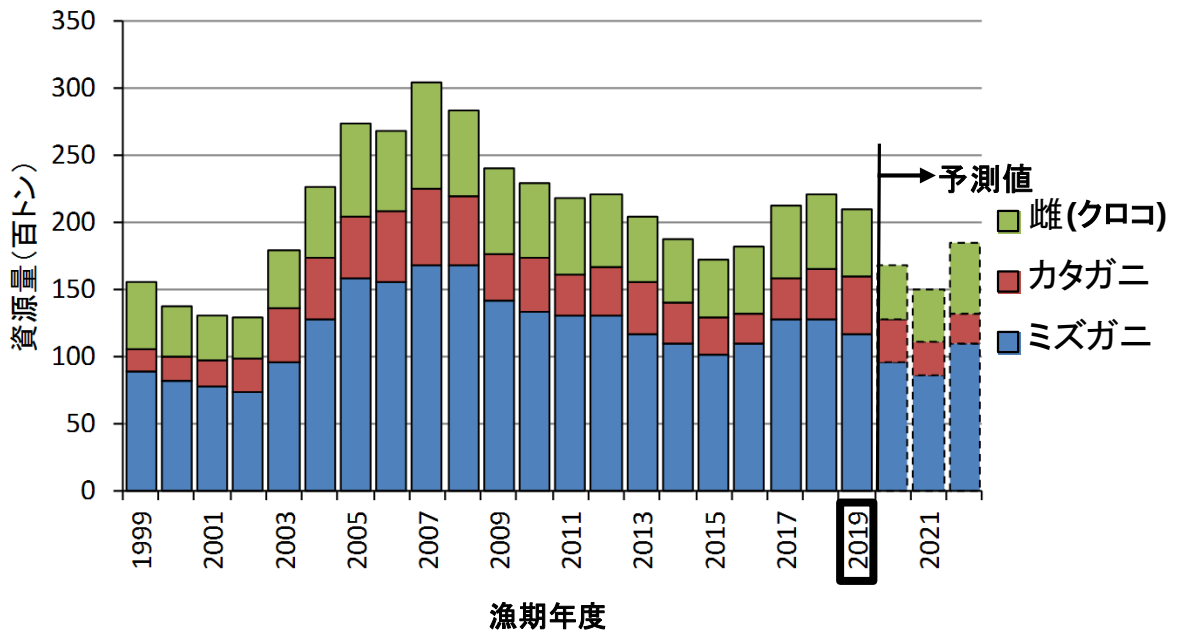


図5 日本海西部海域における推定漁獲対象資源量